

桃山時代の名品！海北友松「寒山拾得・三酸図屏風」、
長谷川等伯「枯木猿猴図」など、**妙心寺派の至宝が勢揃い！**

興祖微妙大師六百五十年遠諱記念特別展

「妙心寺 禅の継承」

3月10日（火）後期展示スタート！

会期：2026年2月7日（土）～4月5日（日）会場：大阪市立美術館

大阪市立美術館（所在地：大阪市天王寺区／館長：内藤栄）は、興祖微妙大師六百五十年遠諱記念特別展「妙心寺 禅の継承」を、2026年2月7日（土）～4月5日（日）の会期で開催しております。前期展示は3月8日（日）で終了し、3月10日（火）より後期展示が始まります。**後期展示では、海北友松「寒山拾得・三酸図屏風」、長谷川等伯「枯木猿猴図」（いずれも重要文化財）など、妙心寺派の至宝が勢揃い**します。

おもな後期展示作品

重要文化財 海北友松 「寒山拾得・三酸図屏風」

右隻には中国唐代末に実在したといわれる隠者、経巻を手にする寒山と、じつとく 箒を持つ拾得が描かれる。
経巻が大きな弧を描き画面にのびやかな動きを与えている。左隻は道教のこうていけん 黄庭堅と儒教のそとうぼ 蘇東坡がぶついでんしんじ 仏印禅師を訪ね、酔をなめて3人そろって口をすばめる故事により、教えは違っても真理は1つという三教一致の思想の絵画化である。

金地と墨の対比が秀逸



重要文化財 海北友松 「寒山拾得・三酸図屏風」桃山時代（17世紀） 妙心寺
画像提供：京都国立博物館

幸福感と躍動感あふれる双幅

重要文化財

長谷川等伯 「枯木猿猴図」

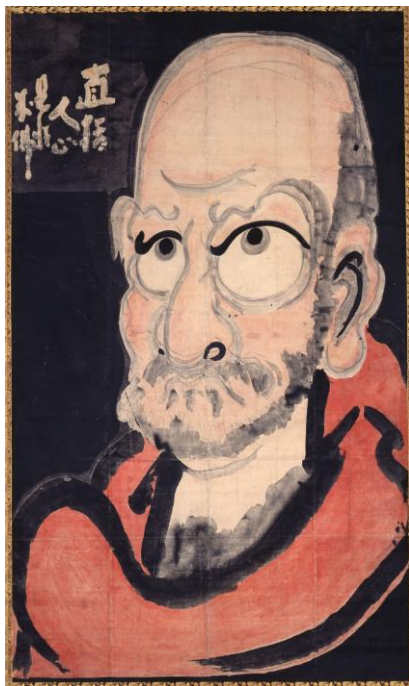
水墨を主体として、枯木の上に戯れる手長猿の姿が描かれる。猿の形態や毛並みの質感は、中国南宋時代の画僧・牧谿もっけいに倣うもの。

一方、樹木のとうはく 蔭や幹などにみられる粗放で勢いのある筆致には、等伯独自の特色があらわれている。桃山時代に狩野派と拮抗して制作活動を展開した等伯の代表作の1つである。



重要文化財 長谷川等伯「枯木猿猴図」
桃山時代（16～17世紀）
京都・龍泉庵 画像提供：京都国立博物館

朱と黒のコントラストが際立つ、白隠最晩年作



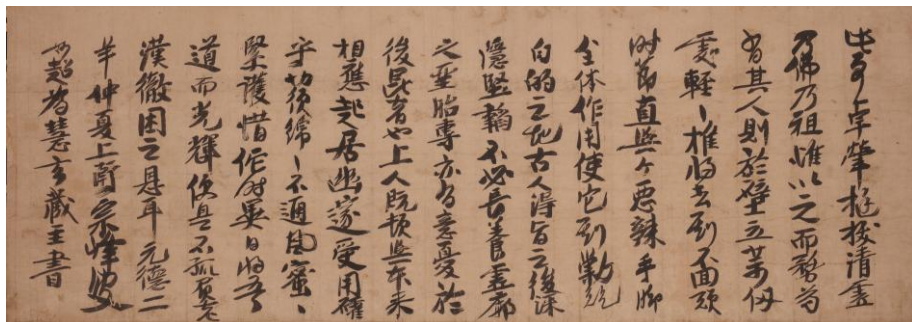
白隠慧鶴 「達磨像」

達磨は日本臨済宗中興の祖、白隠が生涯を通じて最も多く描いた画題で、本作は通称「朱達磨」として知られる。蠟引きによって墨をはじかせたと見られる白抜きの賛には「直指人心、見性成佛（自らの心をまっすぐに見つめ、自身がすでに仏であることに気づきなさい）」と記される。民衆教化に身を捧げた白隠の、一貫したメッセージが込められている。

妙心寺開山が師から授けられた印可状

宗峰妙超墨蹟 印可状

印可状とは、師僧が弟子の修行が熟し大悟に達したときに与える許可状・証明書である。妙心寺開山・関山慧玄に対し、師である大徳寺開山・宗峰妙超は、関山が得た悟りは抜きん出て優れ、いささかの汚れなくそそり立っていると讃え、弟子を悟りに導くすべを説き示している。妙心寺屈指の重宝として国宝に指定されている。



国宝 宗峰妙超墨蹟 印可状 鎌倉時代・元徳2年（1330） 京都・妙心寺

白隠慧鶴 「達磨像」

江戸時代（18世紀）

大分・萬壽寺

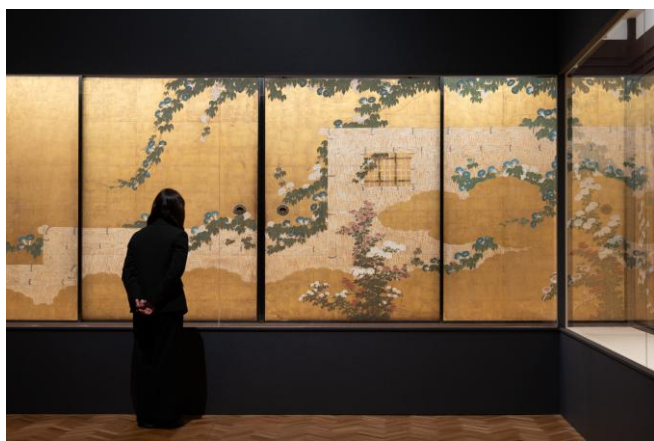
画像提供：花園大学国際禅学研究所

（撮影：第一スタジオ 堀出恒夫）

引き続き展示中！狩野派の至宝「天球院・金碧障壁画」

天球院は、寛永8年（1631）に池田輝政の妹、天球院殿によって創建された妙心寺の塔頭です。狩野山楽・山雪父子によって描かれた方丈の襖絵は、金地濃彩の鮮やかな彩色が現在でも色鮮やかに残り、その豪華絢爛なさまは観る者の心をつかんで離しません。

まさしく桃山絵画を引き継いだ、江戸初期絵画の代表的な名作です。普段は非公開で、なかなか目にするのでできない襖絵を塔頭内と同じ形で再現展示することで、金碧画の最高傑作を十二分に味わっていただきたいと思います。



展示風景

開催概要

展覧会名：興祖微妙大師六百五十年遠諱記念特別展「妙心寺 禅の継承」

会 期：2026年2月7日（土）～4月5日（日）

※展示替えあり

※後期展示は3月10日（火）～4月5日（日）

会 場：大阪市立美術館

大阪府大阪市天王寺区茶臼山町1-82（天王寺公園内）

開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は閉館の30分前まで）

休 館 日：月曜日

主 催：大阪市立美術館、臨済宗妙心寺派、日本経済新聞社、テレビ大阪

協 賛：オムロン、西鶴（さいかく）、野崎印刷紙業、非破壊検査、桃谷順天館

後 援：公益財団法人大阪観光局

特別協力：京都国立博物館

企画協力：浅野研究所

WEBサイト：<https://art.nikkei.com/myoshin-ji/>

観 覧 料：

（税込）

	一般	高大生	小中生
当日	2,000円	1,300円	500円
団体	1,800円	1,100円	300円

※団体は20名以上。

※未就学児、障がい者手帳等をお持ちの方（介護者1名を含む）は無料（要証明）。

障がい者手帳等は日本の法律に基づき交付されたものに限ります。

※大阪市内在住の65歳以上の方も一般料金が必要です。

※本展の観覧券で、企画展示（常設展）もご覧いただけます。

チケット販売場所：e-tix（公式オンラインチケット）、セブンチケット（セブンコード：113-300）、
チケットぴあ（Pコード：687-361）、ローチケ（Lコード：52474）、イープラス、
CNプレイガイド、アソビュー

※チケットの購入時に手数料がかかる場合があります。

《 報道関係者お問い合わせ先 》

「妙心寺 禅の継承」広報事務局（TMオフィス内）担当：馬場・永井・西坂

MOBILE：090-6065-0063（馬場） 090-5667-3041（永井）

TEL：050-1807-2919 FAX：050-1722-9032 EMAIL：myoshinji@tm-office.co.jp